

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月9日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 タカチホ

コード番号 8225 URL <http://www.takachiho-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 久保田 知幸

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長

(氏名) 渡辺 三千也

TEL 026-221-6677

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	7,308	5.8	351	53.0	319	64.3	△718	—
21年3月期第2四半期	6,905	—	229	—	194	—	82	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△114.86	—
21年3月期第2四半期	13.18	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
22年3月期第2四半期	8,396	—	1,782	—	21.2	284.71
21年3月期	8,599	—	2,529	—	29.4	404.17

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 1,782百万円 21年3月期 2,576百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	0.9	250	14.3	200	29.0	△700	—	△111.83

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	7,275,000株	21年3月期	7,275,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	1,015,529株	21年3月期	1,015,529株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	6,259,471株	21年3月期第2四半期	6,261,119株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により予想数値と異なる場合があります。詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機が实体经济へも影響を及ぼし、輸出産業を中心とした企業収益の低迷や、雇用情勢の悪化による個人消費の冷え込むなど、厳しい状況が続きました。

レジャー市場におきましては、一部の観光地で夏季シーズンの天候不順による観光客の減少が見られましたが、週末の高速道路料金の割引によるマイカー客の増加や当期間中に秋の大型連休があったこと等により、概ね売上は順当に推移いたしました。

このような状況のなか、温浴施設部門及び一般小売部門におきましては、安心・安全な商品、サービスの提供に努めましたが、所得不安を感じる消費者の生活防衛意識の高まりから、商品の購入、施設の利用が控えられる傾向が強まったこともあり厳しい状況となった店舗がありました。みやげ品部門におきましては、みやげ品としての特色のある商品造りに最優先で取り組みました。また、前年度下期にオープンしました3店の直営店の寄与もあり計画を超える状況で推移いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は7,308百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は351百万円（前年同期比53.0%増）、経常利益は319百万円（前年同期比64.3%増）、四半期純損失は収益性の低下した既存店等の減損損失が1,261百万円発生し、1,400百万円を特別損失に計上したことにより718百万円（前年同期純利益は82百万円）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

① 貸借対照表

流動資産は前事業年度末に比べて560百万円増加し、3,334百万円となりました。増加の主な要因は現金及び預金が増加し、売上債権が364百万円増加したことによります。

流動負債は前事業年度末に比べて19百万円減少し、4,169百万円となりました。減少の主な要因は仕入債務が201百万円増加、借入金金が314百万円減少、未払法人税等が115百万円増加したことによります。

固定負債は前事業年度末に比べて564百万円増加し、2,444百万円となりました。増加の主な要因は長期借入金が366百万円増加、資産除去債務が303百万円増加したことによります。

純資産は前事業年度末に比べて747百万円減少し、1,782百万円となりました。減少の主な要因は配当金の支払及び当期純損失による減少によります。

② キャッシュ・フロー

当第2四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は375百万円（前年同四半期比 271百万円獲得増 前年同四半期は104百万円の獲得）となりました。これは主に仕入債務の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は37百万円（前年同四半期比 31百万円使用減 前年同四半期は69百万円の使用）となりました。これは有形固定資産の取得による支出の減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は75百万円（前年同四半期比 180百万円使用増 前年同四半期は104百万円の獲得）となりました。これは借入金の純額の減少によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

今後も厳しい経済状況、経営環境が続くと想定されますが、引き続きみやげ品部門におきましては、特色ある商品造りに、一般小売・サービス部門におきましては、安心・安全で価値ある商品・サービスの提供に注力するとともに経費節減を継続して行ってまいります。

平成22年3月期の通期予想につきましては、平成21年11月9日付公表の「特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、営業利益250百万円、経常利益200百万円、当期純損失は700百万円に修正いたしました。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積額を算定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）が、平成22年3月31日以前に開始する事業年度から適用できることとなったことに伴い、当第1四半期会計期間から、同会計基準及び同適用指針を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益が9,698千円減少し、税引前四半期純損失が146,638千円増加しております。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	953,940	705,106
受取手形及び売掛金	1,404,459	1,040,027
商品及び製品	782,747	818,612
原材料及び貯蔵品	87,557	85,547
その他	112,436	130,890
貸倒引当金	△6,478	△6,512
流動資産合計	3,334,664	2,773,672
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,817,978	2,794,191
土地	1,011,237	1,111,596
その他(純額)	251,727	338,588
有形固定資産合計	3,080,943	4,244,376
無形固定資産	65,246	117,898
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,053,845	1,112,649
その他	929,978	422,820
貸倒引当金	△68,543	△72,145
投資その他の資産合計	1,915,280	1,463,324
固定資産合計	5,061,470	5,825,599
資産合計	8,396,135	8,599,271
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	839,306	637,940
短期借入金	2,631,720	2,946,132
未払法人税等	173,590	58,089
賞与引当金	51,736	50,564
返品調整引当金	8,289	7,936
ポイント引当金	13,519	13,277
その他	451,671	475,681
流動負債合計	4,169,832	4,189,622
固定負債		
社債	500,000	540,000
長期借入金	1,357,320	990,450
役員退職慰労引当金	53,179	50,854
資産除去債務	303,937	—
その他	229,731	298,429
固定負債合計	2,444,167	1,879,734

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債合計	6,614,000	6,069,356
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	720,835	720,835
利益剰余金	264,842	1,008,846
自己株式	△199,675	△199,675
株主資本合計	1,786,001	2,530,005
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,866	△90
評価・換算差額等合計	△3,866	△90
純資産合計	1,782,134	2,529,915
負債純資産合計	8,396,135	8,599,271

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	6,905,288	7,308,508
売上原価	5,242,654	5,526,408
売上総利益	1,662,634	1,782,099
販売費及び一般管理費	1,432,992	1,430,765
営業利益	229,642	351,334
営業外収益		
受取利息	4,171	3,982
受取配当金	316	179
受取事務手数料	6,202	4,474
その他	9,703	8,316
営業外収益合計	20,394	16,952
営業外費用		
支払利息	53,801	48,008
その他	1,941	1,100
営業外費用合計	55,743	49,109
経常利益	194,293	319,177
特別利益		
受取弁済金	9,515	2,604
前期損益修正益	13,751	—
償却債権取立益	4,761	—
その他	—	200
特別利益合計	28,028	2,804
特別損失		
前期損益修正損	1,904	—
固定資産除却損	109	12
減損損失	26,544	1,261,786
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	136,939
投資有価証券評価損	703	—
不正流用損失	9,515	2,117
特別損失合計	38,777	1,400,856
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	183,544	△1,078,874
法人税、住民税及び事業税	90,647	166,305
法人税等調整額	10,388	△526,214
法人税等合計	101,035	△359,908
四半期純利益又は四半期純損失(△)	82,509	△718,966

(第2四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	3,869,198	3,944,039
売上原価	2,921,053	2,977,687
売上総利益	948,144	966,351
販売費及び一般管理費	752,829	725,019
営業利益	195,315	241,332
営業外収益		
受取利息	2,174	2,001
受取配当金	100	—
受取事務手数料	3,101	4,474
その他	4,924	1,423
営業外収益合計	10,300	7,899
営業外費用		
支払利息	27,369	24,341
その他	889	480
営業外費用合計	28,259	24,821
経常利益	177,355	224,409
特別利益		
受取弁済金	5,105	—
前期損益修正益	9,556	—
償却債権取立益	4,761	—
その他	—	200
特別利益合計	19,424	200
特別損失		
前期損益修正損	1,904	—
固定資産除却損	—	12
減損損失	26,544	1,261,786
投資有価証券評価損	703	—
不正流用損失	5,105	—
特別損失合計	34,257	1,261,799
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	162,522	△1,037,189
法人税、住民税及び事業税	78,884	96,862
法人税等調整額	△2,624	△452,936
法人税等合計	76,260	△356,074
四半期純利益又は四半期純損失(△)	86,261	△681,115

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	183,544	△1,078,874
減価償却費	131,914	166,383
有形固定資産除却損	109	12
減損損失	26,544	1,261,786
投資有価証券評価損益 (△は益)	703	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	574	△3,636
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,020	1,172
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△1,633	353
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	2,004	241
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△13,512	2,325
受取利息及び受取配当金	△4,488	△4,161
支払利息	53,801	48,008
売上債権の増減額 (△は増加)	△256,492	△364,432
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△76,853	33,854
敷金及び保証金の増減額 (△は増加)	5,328	61,390
仕入債務の増減額 (△は減少)	135,766	201,365
未払消費税等の増減額 (△は減少)	12,620	2,263
前受金の増減額 (△は減少)	△1,583	△6,659
その他の資産の増減額 (△は増加)	△34,258	10,239
その他の負債の増減額 (△は減少)	36,606	116,203
小計	202,716	447,836
利息及び配当金の受取額	4,638	883
利息の支払額	△54,061	△47,895
弁済金の受取額	—	25,830
法人税等の支払額	△49,208	△51,207
営業活動によるキャッシュ・フロー	104,084	375,447
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△301,000	△185,000
定期預金の払戻による収入	304,000	198,000
有価証券の取得による支出	△500	—
有形固定資産の取得による支出	△64,286	△48,300
差入保証金の差入による支出	△23,247	△23,457
その他	15,199	20,767
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,834	△37,990

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	520,000	500,000
短期借入金の返済による支出	△460,000	△800,000
割賦債務の返済による支出	△67,306	△53,308
長期借入れによる収入	406,430	903,620
長期借入金の返済による支出	△209,737	△551,162
社債の償還による支出	△60,000	△50,000
自己株式の取得による支出	△53	—
配当金の支払額	△24,814	△24,772
財務活動によるキャッシュ・フロー	104,517	△75,622
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	138,767	261,834
現金及び現金同等物の期首残高	441,853	452,472
現金及び現金同等物の四半期末残高	580,621	714,306

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。